

A R C H I T E C T U R E  
D E S I G N  
C O N C O U R S  
2 0 0 1

平成13年度

# 高校生建築デザインコンクール

課題／道民の森の案内所

A R C H I T E C T U R E

D E S I G N



C O N C O U R S

主催

北海道

(社)日本建築家協会北海道支部

(社)北海道建築士事務所協会

(社)北海道建築士会

2 0 0 1

# ARCHITECTURE DESIGN CONCOURS 2001

## はじめに

公共建築物の整備においては、要求された機能や性能を満足させることはもとより、地域のシンボルとして道民に親しまれ、いつまでも愛着を持って利用していただけるよう配慮しなければなりません。

道では、こうした道民に親しまれる公共建築物の整備を進める一環として、平成8年度から高校生建築デザインコンクールを実施しており、道内の工業高校生を対象にユニークなアイデアを募集し、その提案を実際の建築設計に取り入れて参りました。

昨年度からは、コンクールをより幅広い立場から実施することで、一層充実したものとすため、(社)日本建築家協会北海道支部、(社)北海道建築士事務所協会、(社)北海道建築士会との共催事業としております。

建築を志す高校生の皆さんがコンクールに参加することで、公共建築物について考え、そして学んだ経験は、今後、建築技術者として第一線で活躍していく上で貴重な財産になるものと期待しております。

道といたしましては、選ばれた最優秀作品のアイデアを当別町青山中央地区に建設予定の「道民の森の案内所」に取り入れて、道民に親しまれる公共建築物づくりに活かしてまいります。

終わりに、コンクールの実施にあたり、各高等学校をはじめ、関係機関の皆様には、ご協力を賜り、厚く御礼申し上げますとともに、ご応募いただいた生徒の皆さんの今後のご活躍を心からお祈り申し上げます。

平成13年12月

北海道建設部長

逢坂 禎

M E S S A G E

## 高校生建築デザインコンクールの概要

道民に愛され親しまれる公共建築物づくりを進めていくため、平成8年度から「高校生建築デザインコンクール」を実施しています。

このコンクールは、次世代を担う建築技術者となる道内の工業高校の生徒を対象に夢のあるユニークなアイデアを募集するものです。

最優秀作品に選ばれた作品の提案主旨は、北海道において、実施設計に取り入れ道民に親しまれる施設となるよう建設を進めていきます。

### ●課題／「道民の森の案内所」

豊かな自然・森林にふれ、森に集い、遊び、学ぶことのできる道民の森にふさわしい木の文化を感じさせる案内所をデザインしてください。

### ●応募資格／道内工業高等学校（建築系学科）に在籍する個人又は3名以下のグループ

### ●提出図面／JIS規格A2判（420×594mm）1枚片面に下記の全ての図面を描く。

- ①設計主旨 ②配置図 ③平面図：1/50 ④断面図：1/50 ⑤立面図：縮尺1/50  
⑥スケッチ ⑦建築概要

### ●応募総数／55作品

### ●入選作品／・最優秀作品 1点 ・優秀作品 3点 ・佳作 8点

●審査経過／第1回選定委員会	平成13年7月12日
募集要項配布	平成13年7月16日
作品受付	平成13年10月1日～10月10日
第2回選定委員会	平成13年10月23日
作品展	平成14年1月15日～18日（道庁1階道民ホール）予定

### ●選定委員／永山則男 北海道建設部建築整備室計画管理課長

中岡正憲 北海道建設部建築指導課長

池田尚志 北海道教育庁生涯学習部高校教育課産業教育指導班指導主事

柳生 修 北海道水産林務部森林整備課長

富長光彦 道民の森活動促進センター所長

鈴木敏司 (社)日本建築家協会北海道支部副支部長

松本 侃 (社)北海道建築士事務所協会副会長

栄 道彦 (社)北海道建築士会常務理事

# ARCHITECTURE DESIGN CONCOURS 2001



## 審査のポイント

- 高校生らしい若々しさと創造性にあふれているか。
- 設計のコンセプトやデザインに魅力があるか。
- 立地条件を生かしているか。
- 実施設計に反映させ得るデザインであるか。

このコンクールは、工業高等学校に在籍する建築を志す生徒の皆さんからアイデアを募集し、最優秀作品に選ばれますと、その提案を実際の設計に活かして、道民から愛され親しまれる公共建築物づくりを進めているもので、今年で6回目を迎えています。

今回は、当別町青山中央地区に建築予定の「道民の森の案内所」を課題として、「豊かな自然・森林にふれ、森に集い、遊び、学ぶことのできる道民の森にふさわしい木の文化を感じさせる案内所」のデザインを求めたところ、数多くの作品が応募されました。

課題である「道民の森の案内所」は、小さな建物ではありますが、インフォメーションセンター本来の機能性のほか、周辺の景観や環境への配慮、高齢者をもとよりすべての利用者に優しいバリアフリー対応など、配慮すべき事柄も多く難しい課題であったと思いますが、応募された作品は、それぞれによく工夫されており、たいへん感心しました。

- 審査にあたっては、
- ◎高校生らしい若々しさと創造性にあふれているか。
  - ◎設計のコンセプトやデザインに魅力があるか。
  - ◎立地条件を生かしているか。
  - ◎実施設計に反映させ得るデザインであるか。

をポイントに審査を重ねた結果、最優秀作品1点、優秀作品3点、佳作8点を選定いたしました。

最優秀作品賞に選ばれた大山育世さんは、函館工業高等学校の3年生で、昨年の優秀作品賞に続き、見事最優秀作品賞を受賞されました。本当におめでとうございます。

大山さんの、青山中央地区の周辺の環境に調和するよう、木のぬくもりを生かした、あたたかみフクロウが羽を広げて道民の森に招き入れるイメージのデザインは、道民の森の玄関口に建つ案内所にふさわしい作品として、高い評価を得て選定されました。

優秀作品賞の木村恭子さんの作品は、森との一体感を強く意識した、山の連なりをイメージした3つの建物による構成は、仕上げの美しさとともに評価されました。

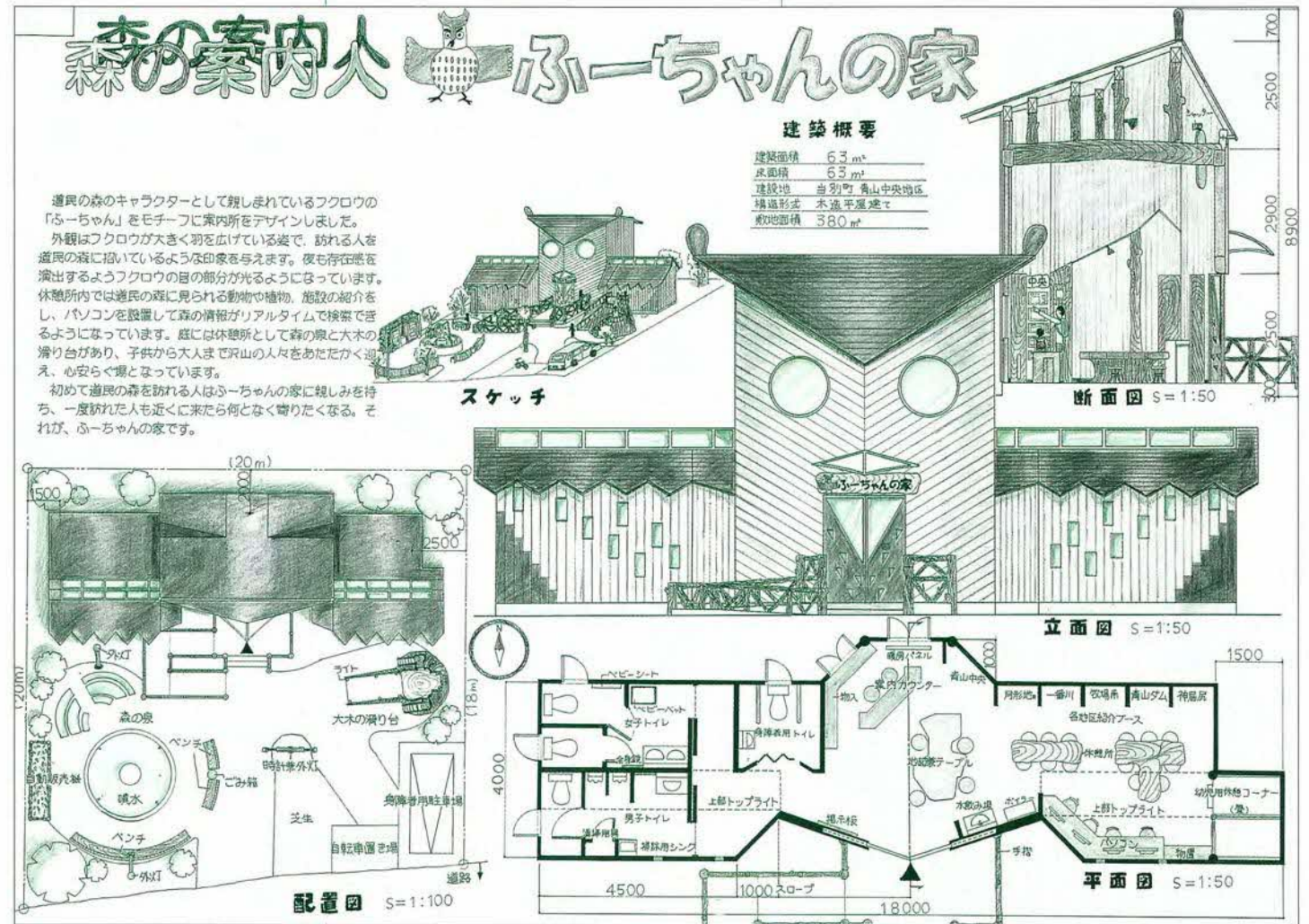
伊藤依弥さんの作品は、森のイメージを三本松にたとえ、屋根に配置したステンドグラスによる光の演出は、独創的なアイデアとして評価されました。

森喬敏君、木村英夫君のグループによる作品は、木の葉の形の屋根、ウッドデッキや丸太材の使用など、木にこだわった開放的な空間が道民の森の自然と溶け合う作品として評価されました。

このほか、佳作に選ばれた8作品も力作ぞろいであり、また惜しくも入賞されなかった作品の中にも、高校生らしい新鮮なアイデアに溢れる提案が数多くあったことをお断りし、これからの期待とします。

審査を終えて、建築を志す若い高校生の熱意と可能性に触発されるとともに、北海道の21世紀を託す建築技術者の水準の高さを強く感じる事ができました。

最優秀作品賞



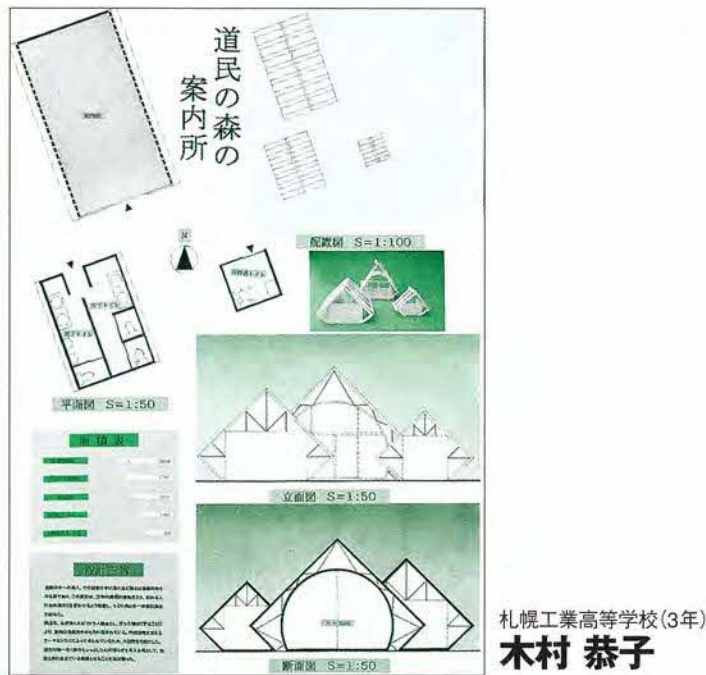
函館工業高等学校(3年)  
大山 育世

設計主旨

道民の森のキャラクターとして親しまれているフクロウの「ふーちゃん」をモチーフに案内所をデザインしました。外観はフクロウが大きく羽を広げている姿で、訪れる人を道民の森に招いているような印象を与えます。夜も存在感を演出するようフクロウの目の部分が光るようになっています。休憩所内では道民の森に見られる動物や植物、施設の紹介をし、パソコンを設置して森の情報リアルタイムで検索できるようになっています。庭には休憩所として森の泉と大木の滑り台があり、子供から大人まで沢山の人があたたかく迎え、心安らく場となっています。初めて道民の森を訪れる人はふーちゃんの家で親しみを持ち、一度訪れた人も近くに来たら何となく寄りたくなる。それが、ふーちゃんの家です。

入賞作品

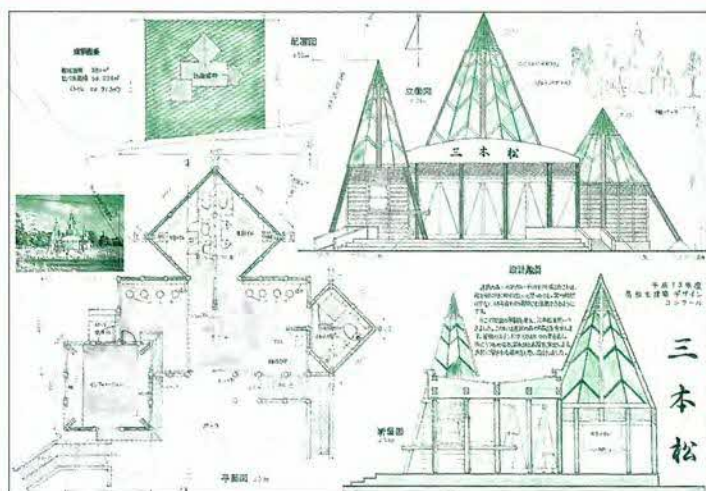
優秀作品賞



札幌工業高等学校(3年)  
木村 恭子

設計主旨

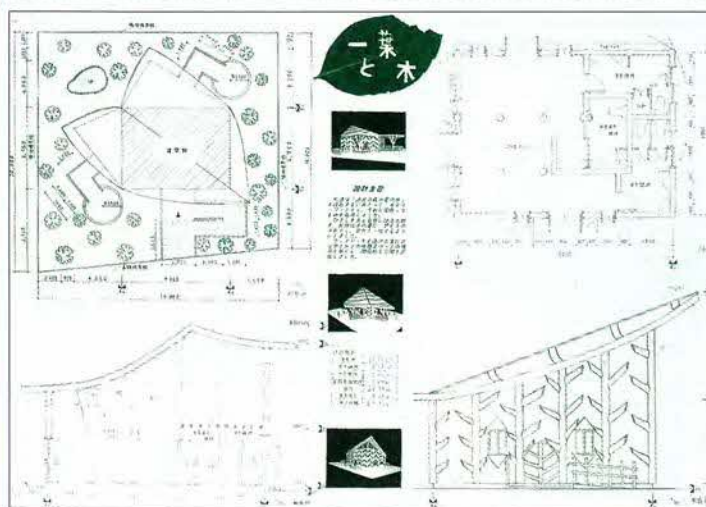
自然の中への導入、その自然の中に溶け込む形とは自然の形そのものであり、この設計は、方形の屋根の建物を3つ、訪れる人に山の連なりを想わせるよう配置し、そこに森との一体感の演出を試みた。  
構造は、柱が無く木材でトラス構造とし、ガラス張りにすることにより、室内は自然光そのものに包まれている。内部空間を支えるアーチはトラスによって吊られているため、大空間を可能にした。道民の森へ行く前のちょっとした心の安らぎを与える場として、自然と共に生きている建築となることを私は願った。



美明工業高等学校(2年)  
伊藤 依弥

設計主旨

道民の森へのアプローチに行き感じたことは、何か目に付く物が欲しいと思ったこと。案内所だけでなく、待ち合わせ場所にも使用できるようにです。そこで周囲の景観を考え、二本松を思いつきました。この形は道民の森の「森」を意味します。屋根のステンドグラスは木々の葉を表し、床にうつる光は木漏れ日と木陰を演出します。道民に愛される場所をと思い設計しました。

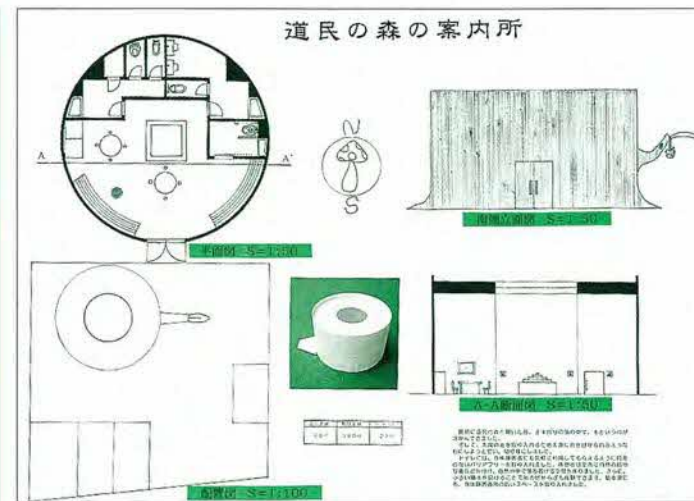


北見工業高等学校(3年)  
森 喬敏・木村 英夫

設計主旨

私たちは「道民の森の案内所」を設計するにあたって、木をキーワードとし、それに関係したものを利用しました。ひさしを支える柱には丸太材を、屋根は木の葉に、壁を木の浮彫とし、自然と一致するようにしました。ウッドデッキを設けることにより中と外との休憩スペースの境目を無くし、開放的な空間を目指しました。

佳作



札幌工業高等学校(3年)  
伊藤 彰仁

設計主旨

最初に道民の森と聞いた時、まず自分の頭の中で、木というのが浮かんできました。  
そして、太陽の光を取り入れるため天井に窓を付けられるような形にしようと思い、切り株にしました。  
トイレには、身体障害者の方々にも気軽に利用してもらえるように段差のないバリアフリーを取り入れました。休憩所は室内に自然の絵や写真などを付け、自然の中で落ち着ける空間を作りました。さらに、小さい噴水を設けることで川のせせらぎも体験できます。駐車場にも、身体障害者用の広いスペースを取り入れました。



札幌工業高等学校(3年)  
稲津 侑樹・吉村 一也

設計主旨

私が設計した案内所は、森との調和を目指しました。その一つとして、屋根の上に花を植えることにより、周りの森との調和を考えました。この屋根は道民の森の象徴であり、今までの案内所にはない自然を意識した屋根にしてみました。  
そして、人工の光よりも自然の光をたくさん取り入れるために、窓をたくさん設けました。自然の光を取り込むことにより、明るく、元気な感じになります。従って、この案内所は日常生活では感じられない自然とのふれあいや光との「融合」を深めるには最高の案内所です。この様なコンセプトを持って、私はこの案内所を提案します。



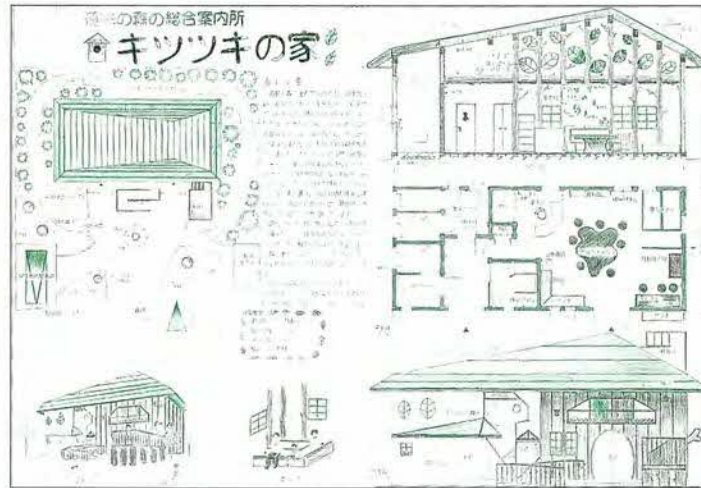
函館工業高等学校(2年)  
濱谷 まいこ

設計主旨

案内所中央から右手には道民の森全体の案内エリアが、左手には公衆トイレが配置されています。  
案内エリアは青山ダム地区、牧場南地区等6つの地区を実際の地図の位置と同じように配置しました。それぞれの地区にはベンチがあり案内板を見ることにより地区の特長をくつろぎながら学習することができます。  
公衆トイレは身障者、幼児にやさしい明るく、ゆとりのある設計になっています。  
外壁、内装は当別町の木を用いて、北海道らしさを演出し、親しみをもてるようにしました。  
6つのブロックをひとまわりすると実際の地図と同じようになっているので、自然に道民の森全体の様々な事を学習、把握できるのが「MAP HOUSE」です。

入賞作品

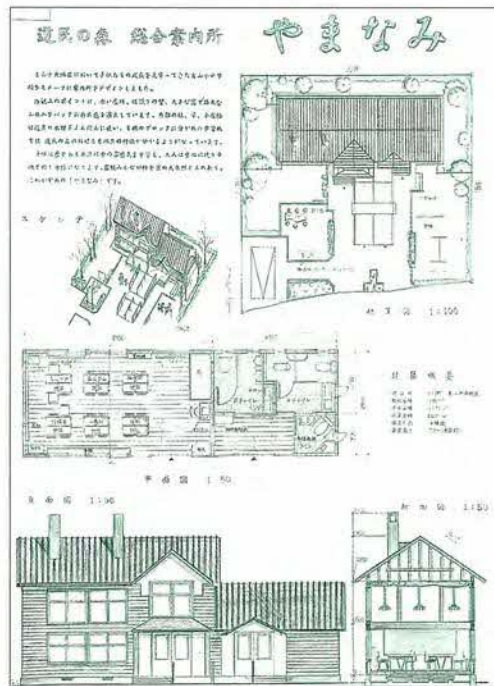
佳作



函館工業高等学校(2年)  
稲田 理沙

設計主旨

道民の森に住む鳥の中でも、個性的で親しみやすいキツツキをモチーフにデザインしました。巣の入り口をイメージした窓は、光をたくさん入れられるよう大きなスタンドガラスの窓とし、窓の近くにはほのほのとしたキツツキの親子を表現しました。入り口のドアは鳥の卵をイメージし、案内所中央の大きなテーブルはテーブル自体が地図になっていて、座っているだけで各地区の特長が分かるようになっています。身障者やお年寄り用のトイレはゆとりをもたせ、男女共、子供と入れるブースを設けています。建物の外は、鳥が集まるよう水飲み場や噴水を設け、様々な樹を植えバードウォッチングの観察台を設け、芝生の上には鳥の巣と卵をモチーフしたイス、テーブルがあり、くつろぎの空間となっています。道民の森を訪れた家族が、キツツキの親子のように、より絆を深めて北海道の大自然を満喫してほしいと願っています。

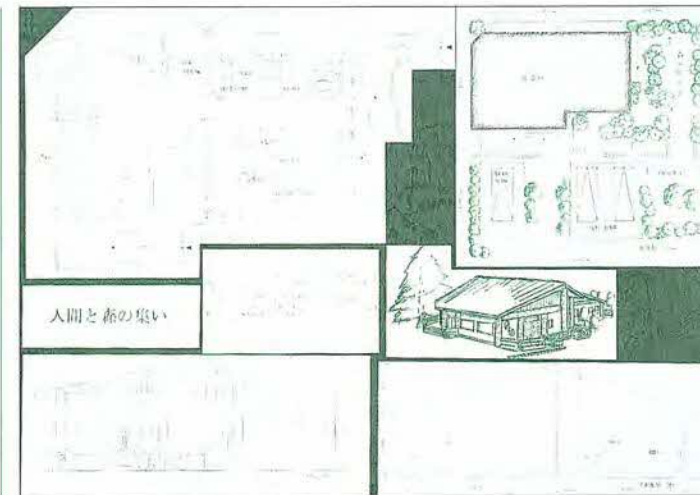


函館工業高等学校(3年)  
荒井 充

設計主旨

青山中央地区において子供たちの成長を見守ってきた青山小中学校をモチーフに案内所をデザインしました。外観上のポイントは、赤い屋根、板張りの壁、大きな窓で雄大な山並みをバックに存在感を演出しています。内部の柱、梁、小屋組は道産の木材をふんだんに使い、6班のブロックに分かれた学習机では道民の森における6地区の特徴が分かるようになっています。子供は歴史ある木造校舎の雰囲気を感じ、大人は童心に戻り子供と同じ視線になります。家族みんなが絆を深め大自然とふれあう。これが案内所「やまなみ」です。

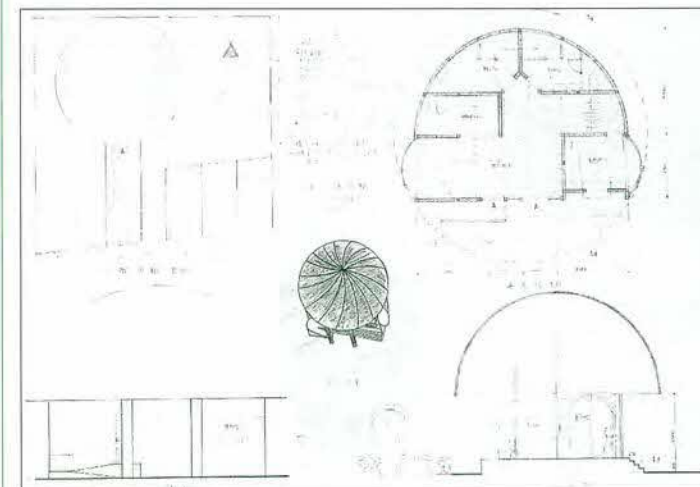
佳作



小樽工業高等学校(3年)  
水谷 麦

設計主旨

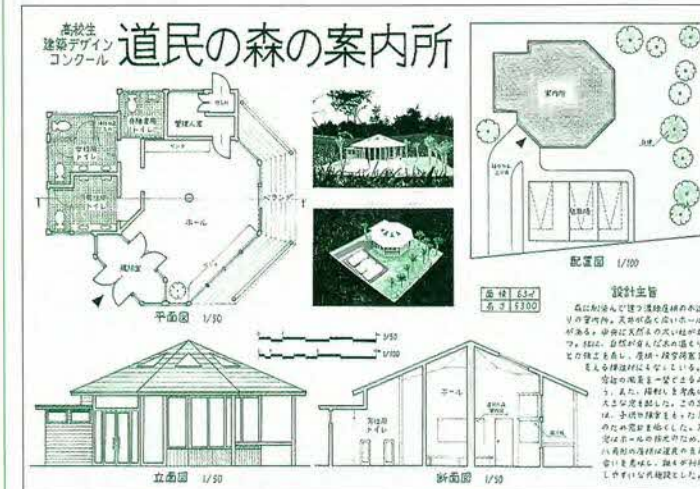
コンクールということで、まず思いついたのは円形や三角形等の個性的な建物でした。しかし、こういった形は誰もが思いつくだろうと思い、あえて一般的な形を使って考えてみました。北海道の大自然との調和をはかり、建物の周辺には木を沢山植えてみました。出入口は2つ設け、正面玄関と正面に向かって右側には散歩道から直接建物へと出入り出来るようになってあります。



名寄光凌高等学校(3年)  
佐久間 紀明

設計主旨

道民の森に建つ案内所という設計課題なので、  
・周囲の自然を生かす  
・親しみやすい  
・線にとけこむ  
の3点を考え、キノコの形でイメージしました。ユニークで自然にとけこみ、人々になじみやすくできていると思います。中に入ると、天井がふき抜になって、開放的になっていて、屋根の構造がわかる建物で、来た人達が興味をもって休憩できる場所だと思います。



帯広工業高等学校(3年)  
及川 由紀子

設計主旨

森に馴染んで建つ濃緑屋根の木造りの案内所。天井が高く広いホールがある。中央に天然木の太い柱が立つ。柱は、自然が育んだ木の温もりと力強さを表し、屋根・積雪荷重を支える構造材にもなっている。窓辺の風景を一望できるように、また、陽射しを考慮し大きな窓を配した。この窓は、子供や障害者もつた方のため窓台を低くした。天窓はホールの採光のため、八角形の屋根は道民の支え合いを意味し、誰もが利用しやすい公共施設とした。

平成13年度高校生建築デザインコンクール応募者一覧

**札幌工業高等学校**  
(14作品18名)

木村恭子(3年)【優秀作品賞】  
石山由紀恵(3年)  
花田敏貴(3年)  
細川貴伸(3年)  
杉山偉彦(3年)  
上原香士(3年)  
斎藤勇太(3年)  
戸田優太(3年)  
今野晶人(3年)(2名グループ)  
宮本也寛(3年) //  
伊藤彰仁(3年)【佳作】  
稲津侑樹(3年)(2名グループ)【佳作】  
吉村一也(3年) //  
田中浩二(3年)(2名グループ)  
西口景介(3年) //  
吉岡聖史(3年)  
菅原 愛(3年)(2名グループ)  
戸城亜美(3年) //

**函館工業高等学校**  
(7作品7名)

芳賀妙子(3年)  
大山育世(3年)【最優秀作品賞】  
杉田 愛(3年)  
濱谷まいこ(2年)【佳作】  
稲田理沙(2年)【佳作】  
荒井 充(3年)【佳作】  
柴田 亮(3年)

**小樽工業高等学校**  
(4作品4名)

川人 梓(3年)  
新井田邦宏(3年)  
堀 剛士(3年)  
水谷 麦(3年)【佳作】

**美唄工業高等学校**  
(2作品4名)

伊藤依弥(2年)【優秀作品賞】  
及川直人(2年)(3名グループ)  
鈴木康洋(2年) //  
松浦 喬(2年) //

**名寄光凌高等学校**  
(10作品10名)

渡辺辰徳(3年)  
木村義彦(3年)  
佐久間紀明(3年)【佳作】  
飯塚一征(3年)  
田中 誠(3年)  
谷口 肇(3年)  
高見晋介(3年)  
佐々木恵多(3年)  
鈴木 歩(3年)  
伊藤 俊(3年)

**室蘭工業高等学校**  
(1作品1名)

内山まゆ子(3年)

**北見工業高等学校**  
(9作品19名)

伊藤 純(3年)(3名グループ)  
伊勢恵介(3年) //  
池田佑輔(3年) //  
生駒大輔(3年)  
伊藤秀明(3年)(2名グループ)  
西村武彦(3年) //  
土居 慎(3年)(2名グループ)  
遠藤 玲(3年) //  
遊佐真也(3年)(3名グループ)  
大林元樹(3年) //  
樽見慎吾(3年) //  
南めぐみ(3年)(3名グループ)  
大山亜美(3年) //  
大原 幸(3年) //  
森 喬敏(3年)(2名グループ)【優秀作品賞】  
木村英夫(3年) //  
安岡 瞬(3年)(2名グループ)  
庄司智紀(3年) //  
和田勇樹(3年)

**帯広工業高等学校**  
(7作品8名)

相澤由美子(3年)  
江本真紀(3年)  
及川由紀子(3年)【佳作】  
神 朋恵(3年)  
安保幸恵(3年)  
村井麻友美(3年)  
大橋佳世(3年)(2名グループ)  
高橋絵美(3年) //

**苫小牧工業高等学校**  
(1作品1名)

田内正紘(3年)

計—55作品(72名)

●高校別応募作品数一覧

高校名	H13応募作品数
札幌工業高等学校	14
函館工業高等学校	7
小樽工業高等学校	4
美唄工業高等学校	2
名寄光凌高等学校	10
室蘭工業高等学校	1
北見工業高等学校	9
帯広工業高等学校	7
苫小牧工業高等学校	1

ARCHITECTURE  
DESIGN CONCOURS  
2001

高校生建築デザインコンクール

発行/北海道建設部建築整備室計画管理課  
札幌市中央区北3条西6丁目  
TEL.011-231-4111 内線29-863

印刷/興国印刷株式会社 平成13年12月発行